

科目名	助産診断・技術学Ⅲ (Midwifery Clinical Skills Ⅲ)			科目コード	S108
単位数	1単位	選択区分	必修	時間数	30時間
区分	助産学実践領域	学期	前期	関連DP	助①②④⑥
担当教員	今村 朋子、井上 明子、伊藤 美香				
授業概要	本科目では産褥・新生児期の内容に焦点を当てる。Ⅰ～Ⅱから継続した褥婦・新生児とその家族の事例展開を通して、産褥・新生児期の助産実践に必要な基礎的能力を養う。特に、母親の育てる力と児の育つ力を引き出すための援助について保健指導による関わりを中心とした事例の展開を行う。				
授業目標	1 産褥・新生児期の診断と援助を行うための知識・技術を修得し、助産過程を展開することができる。 2 標準的な保健指導計画を事例に合わせて修正し、個別性のある保健指導を実施することができる。				

#### 授業計画

回	項目	内 容	担当者
1	産褥・新生児期における対象理解と助産師の役割	産褥・新生児期の助産診断類型 母親の育てる力・児の育つ力を引き出す援助	今村朋子
2	助産師ならではの母乳育児支援	《基礎編》解剖生理と母乳分泌のメカニズム 乳房のフィジカルイグザミネーション	今村朋子
3		《実践編》ポジショニング・ラッチオンの基本 直接授乳観察シートによるアセスメント	井上明子
4		《応用編》日々の変化に応じたケア 産褥早期の乳房トラブル時のケア	
5～6	事例展開⑫ 産褥・生後1日	【実践演習】健康診査と保健指導の実践 母子の経過診断、母乳育児を促進する支援、 母子関係の促進と育児技術獲得に向けた支援	今村朋子 瀧本千紗
7	産褥・新生児期の記録と計画立案	母子の経過を捉える記録、産褥期の保健指導の展開 ウェルネスの視点での目標設定、バースレビュー	今村朋子
8	事例展開⑬ 産褥・生後3日	【事例演習】 日々の変化を捉えた助産過程	
9～11	事例展開⑭ 産褥・生後4日	【実践演習】退院指導の実践 退院後の家庭生活に向けた支援	今村朋子 瀧本千紗
12	事例展開⑮ 産褥・生後5日	【実践演習】退院時の指導の実践 検査説明、各種手続き、母子手帳の活用	
13	退院後の継続ケア	退院後の継続ケア 電話訪問、家庭訪問、2週間健診	今村朋子
14	事例展開⑯ 家庭訪問 (120分)	【実践演習】家庭訪問場面の実践 家庭生活に密着した支援	今村朋子 瀧本千紗 伊藤美香
15	1か月健診と継続ケア (60分) 助産診断技術学：前半まとめ	助産師による1か月健診 助産師による育児支援の意義 実習に向けたメッセージ	今村朋子
成績評価方法	筆記試験 (25%)、保健指導課題：家族計画 (20%)、保健指導の実践 (30%)、保健指導評価記録 (5%)、家庭訪問計画 (20%) とし、各評価ともに6割を合格の条件とする。		
教科書	共通シラバスのとおり		
参考図書等	・鈴木由美「マタニティサイクルの実践保健指導 (産褥期)」(丸善プラネット) ・日本ラクテーションコンサルタント協会 編集「母乳育児支援スタンダード」(医学書院)		
授業時間外の学習について	毎回、次の授業に向けた課題があるため、授業時間外での事前学習が必要となります。授業は、各自が実施してきた課題を確認する形式で行います。		
関連科目	103 周産期医学、104 新生児・乳幼児学、111 統合ヘルスケア ⇒本科目 ⇒117-119 助産学実習Ⅰ～Ⅲ、110 周産期ハイリスクケア論		
備考	※毎回、次の授業に向けた課題があり、実施してきた課題に沿って授業を行います。		